



第 4 1 号

第12回同窓会海外旅行

魅惑のトルコを訪ねて

専門24 黒澤 教子

平成十年十月八日、添乗員を含め一行十九名は、トルコ航空直行便でイスタンブールへ向かった。集うのは湊会長以下過去



カッパドキアにて

十一回の海外旅行の何れかに参加して、いつしか馴染みとなった仲間が多い。

朝、西に向かって飛び立つと初日は長い。日本で十月八日が終わろうとする頃、空港からホテルに向かうバスの中から窓外を眺める。「ビザンチウム」とも「コンスタンチノープル」とも呼ばれるイスタンブール。ローマ調の遺跡(水道橋や城壁)やモスクの尖塔が見え隠れするようにになると、これからの旅程に胸が踊り、長い一日の疲れも忘れ、皆あくびをしながらも外の風景に眼を凝らすのだった。

ヒルトンで爽やかな朝を迎えた。金角湾、マルマラ湾、ボス

フォラス海峡に囲まれたセラグリオ岬。その地の利によって首都をアンカラに譲ってもなお繁栄し続けるイスタンブールであることが理解できる。

先ずビボドルーム(古代馬車競技場)。たった三本しか残っていないモニュメント(テオドシウスとコンスタンチヌスの二本のオベリスクと頭が欠け落ちたままの蛇の円柱)を仰ぐ。最盛時には十万人を収容した四十層の観客席、ローマ帝国各地から集めたモニュメントが林立していた由。映画「ベン・ハー」を思い出した。

絵はがきや目玉の形をしたお守りを持って「千円、千円」と声高く追い継る少年達の声で現実に戻され、スルタンアフメットジャマイへ。

内部が青を基調にしたタイルで飾られていることから「ブルーモスク」とも呼ばれる。この年齢になるとカタカナ呼称は少しでも短い方が助かる。

あくまで信仰の場であると、靴を脱いで中に入る。本堂内部の広大な空間に「象の足」と呼ぶ四本の巨大な柱、植物をモチーフに描いた青いタイルがステンドグラスとよく調和して幻想的だ。白大理石の説教壇、広い

中庭もその中央の六角の泉も大理石。

ブルーモスクに隣接し相対するはハギアソフィア(アヤソフィア)。ビザンチン建築の華。西のキリスト教会からも東のイスラム世界からも羨望的となってきた。二度焼失後六世紀に再建。小アジアに住むギリシア

人の見事な見事な作である。十字軍による狂気に満ちた略奪の嵐で、ハギアソフィアも聖品財宝すべて剥ぎ取られ無惨な姿になったという。十五世紀オスマントルコに征服されたが、イスラム教徒は活かせるものは皆転用し、イコンやキリスト教の人物像のモザイク等はそのまま残した。今世紀、共和国となり、初代大統領アタチュルクはビザンツ・オスマン博物館として再出発させた。

マルマラ海と金角湾に突き出した景勝の丘に建つトプカプ(大砲を備えた門の意)宮殿に廻る。既に廃虚となっていたコンスタンチヌス大帝の宮殿跡をマフメット二世が選び宮廷とした由。

千二百人もの調理人が立ち働いていたという台所に、宮廷で使われていた中国製や日本製の陶磁器(有田焼)が展示されて

古い資料を集めています
学園では、学校生活に関する資料を集めています。たとえば、次のようなものです。
入学許可書
入学式次第
卒業証書
賞状(精勤賞など)
校章
遠足のお知らせ
夏休みの注意
生徒動員の腕章
月謝袋・月謝のお知らせ
文化祭・芸術の会の入場券・パンフレット・食券
記念写真
スナップ写真
(撮影日のわかるもの)
文集・日記

学園でも必ずしも全部を保存していません。
ご提供者の名前を付して保管し、将来の教育の参考にといたします。

送り先(住所記載不要です)
〒164-8638
中野区本町6-38-1

東京文化学園 資料室
(担当・酒詰)

☎(03) 3381-0196

ボスボラス海峡を舟で遊覧



宮殿や公園、木造の家屋と近代の建物、過去と現在、富と貧、兩岸の風景は、複雑なトルコの現状を語ってくれた。

三日目にバスでアンカラへ。広大なアナトリア高原のほぼ中央に位置するアンカラは、首都となつて七十年が経つ。モダンなビルが立ち並び、いかにも新興都市。だがこの土地も紀元前八世紀に遡る古い町、諸王朝興亡の歴史を持っている。

アナトリア文明博物館を見学。隊商宿を改修したもので、ヒッタイト、アッシリア、ペルシャ、ギリシア、ローマ、セルジュクからオスマンへと興亡したアナトリアの文化を年代順に見学できるよう設計されていた。特にヒッタイト・コレクシオンは素晴らしい。

ここでトルコの女子学生に声をかけられた。日本語を履修中とか。何とも愛らしく、整った風貌はギリシアの彫刻さながらの美人揃いであった。そういうえば絨毯工場で手織りのデモンストレーションをしていた少女もあどけなく、カメラを沢山向けられていた。

太古、火山活動によって大量の火山灰が堆積し、厚い凝灰岩の層ができた。それが長期にわたる侵蝕を受けて生まれた風変わりな地形を生んだ。カッパドキアという名称は紀元前にこの地域を支配した王国名が今も使われているのであつて、いくらトルコが親日的だといつても「河童」とは関係ない。

イスタンブールが人の知に成る文化遺産の宝庫とすれば、ここは神の作り給うた地球遺産である。砂漠に近い草原丘陵地が何処までも続く。そこに奇岩が林立。摩訶不思議な風景のパノラマはいつまで眺めていても飽きない。碧い空、澄んだ空気、容赦なく降り注ぐ陽光。春にも来られた石川副会長は「秋の方がずつと良い。」と言われる。

カッパドキア古王国は、やがてローマに吸収され、七世紀に回教徒の侵略を受けるとキリスト教徒であった住民は谷間に避難し信仰を守つた。深い渓谷に大小の奇形の岩が並ぶギョレメは人目を避けて隠れ住むのに最適だったのであろう。

野外博物館で岩窟の教会を見る。凝灰岩は水が浸透しにくいのだそう。千年に近い長い年月を耐えて、岩室に密かに隠されていた、数々の色彩豊かなフレスコ画。自然に頭が下がる。カッパドキアへの往復に、バ

スのエンストというハブニングもあつたが、キヤラバンサライ(隊商宿跡)や塩の湖の見学は、興味を添えた。

アナトリア高原は、東南北を山脈に遮られ夏は酷暑、冬は酷寒の厳しい気候だそう。従つて湖(トウズ湖)は夏になると干上がつて真白な平原となる。塩を踏みしめさんざん歩いたが、遂に水辺に辿り着けなかつた。足下の塩を掘るとピンクに見える。遠くに散らばつた仲間達が豆粒程に見えた時、塩の湖の広さが解つた。

恒常的なインフレ(トルコリラで示す物価は桁数が多くて換算しにくかつた)、イスラム原理主義勢力、グールド労働者党のテロなど、現在のトルコが抱える問題は中途半端ではなさそうだが、変貌し続けながらも輝きを失ふことのないイスタンブール、神の造形の妙に人間の営み加わつたカッパドキア、全国各地に保存される古代遺跡、それがあつた限りトルコの魅惑は失せまい。もう一度行きたい。

旅行社の心ある企画でホテル良し、コース良し。日本語の巧い現地ガイドさん、交渉と采配を一手に引き受けられた石川副

会長。時々気合いを入れる湊会長、素直に協力した参加者一同、皆本当に有難う。お疲れ様でした。

阪神淡路の震災と類似の断層横ずれ直下型地震がトルコを襲い、日を追つて被害の大きさが報道されている。正直に言つてトルコの旅が昨秋であつたことに感謝すると共に崩壊された町の映像を見る度、何かじつとしていられない感じがする。多くの犠牲者の冥福と一日も早い復興を切に祈っている。

同窓会海外旅行実施状況

1	カナダ	昭58年8月
2	台湾	昭59年12月
3	オーストラリア	昭61年3月
4	スイスとロマンチック街道	昭62年8月
5	北欧	平元年8月
6	ベネルクス三国	平3年8月
7	ニュージールランド	平4年8月
8	ポルトガル	平6年8月
9	オーストラリア	平7年8月
10	スイス	平8年8月
11	ハワイ三島めぐり	平10年1月

平成十年度短大総会

短31 大村富美子

昨秋十月十六日(金)平成十年度の短大総会が、竹芝のホテルインターコンチネンタル東京ベイにおいて開催されました。

夜来の雨も上がり、平日にも拘わらず、八十余名が総会に集いました。

五十嵐佳寿子副幹事長の司会で、大村富美子幹事長の開会の辞に続いて、湊くに会長挨拶があり、七十年史発刊の件、「泉」を通して同窓会の活動を把握し協力と呼びかけられました。

また来賓の村松一郎学長より大学の近況等、ご挨拶を頂きました。

中谷容子副幹事長から短大部の会計・行事報告があり、一部終了しました。これと同時に一斉にカーテンが上がり、正面にレインボープリッジとパノラマビューのすばらしい景観に一同感嘆の声を上げました。

三吉康彦先生の乾杯の発声で会食となり、司会のリードで、驚見美智子先生の学園の現況、遠方から出席の方のスピーチを

頂き、旧交を温め合う和やかな光景が見られました。坂田マサ子副幹事長により恒例の福引きが行われ、和気藹々のなか、高橋芳子副幹事長の閉会の辞を以って散会致しました。

「むつみ会」発足

高女22 伊藤美和子

平成十年十一月二十一日、この日は昭和二十五年以来高女部会、高校部会として別々に活動してきた二つの会が合併し、新たに「むつみ会」としての第一歩を踏み出す記念すべき日でした。会場は東京タワーを望み、浜離宮の緑を眼下に見る芝生会館です。

定刻三十分前にもなると受付の賑やかなこと、皆懐かしい再会に、つい声のトーンが上がってしまふのです。総会は一階の会場で、四名の来賓の先生方をお迎えし、百四十五名の出席者が一堂に会して行われました。

昼食は会場の都合で二カ所に分れることになりましたが、お互いを思いやりながら高女は二階会場にそのまま、高校は移動



「むつみ会」会場風景

が大変ですが眺めのよい十一階へ移りました。そして最後に全員が集まって校歌斉唱。むつみ会として高女・高校の卒業生が心をついにした第一回総会でした。

同じ教育理念の下に教えを受け、同じ校舎、同じ校歌で育った私達です。これからも高女・高校が力を合わせ助け合いながらむつみ会を育ててゆきたいと思ひます。

東京文化学園同窓会 群馬県支部会に集う

群馬県支部 塚田幸子 (専17)

真夏を思わせる様な晴天に恵まれ、五月三十日、前橋厚生年金会館にて、森本晴生理事長、村松一郎学長、湊くに同窓会会長、長岡文先生、中川悦先生をお迎えして、支部会を開催致しました。

県内には百人を越す卒業生がおられますが、色々の事情で当日の参加者は十三名となりました。



群馬県支部会

学園からはビデオをお持ち下さり、村松学長から現在の学校の様子をご説明頂きました。また四年制大学へ向けての構想を伺い、森本理事長からの実現への計画が着々と進んでいるお話にとても感動致しました。

昼食を頂きながら自己紹介が始まり、卒業後の皆様の前向きな生き方に圧倒される思いでした。私の様に在学中に日米開戦を経験した者から、現在、社会で活躍されている若い方まで、お話を伺いました。

年代は違っても同じ学園での生活を共有した人同志、なごやかに楽しい時間をすごす事が出来ました。

来年度の短大、医技の入学案内の資料をお預かりし、湊会長からも母校のため学生募集に協力の程よろしくとお言葉がありました。

次回はもっと若い方や医技卒の方に参加していただきたいと念じつつ散会致しました。

支部会開催を歓迎します

支部会開催は同窓生同士の絆を深めるまたない機会です。ご連絡を頂ければ、同窓会本部・学園からも出席いたします。

アメリカで学んだ日々

医技53 前島 祐子

生後三ヶ月になったばかりの我が子を抱いて吹雪のシカゴ空に降り立ったのは、一九八九年十二月六日のこと。

自動車の部品メーカーに勤める主人が会社から三年間のアメリカ駐在の辞令を受け、ついていく事になったのだ。当初の予定が、延びに延び、それから八年間もオハイオで生活することになろうとは。

その八年間は私にとって海外駐在員の妻と同時に専業主婦という未経験のシチュエーションを与えられることを意味した。医技で学んでいたころ、そして卒業して東京女子医大に就職したばかりのころ、将来を考えると専業主婦になっている自分の姿は全く想像できなかった。たとえ結婚しても子供が出来ても仕事は続けたいと思っていた。家事、育児、会社関係の付き合い、子供を通じて出来た友達同士の付き合いなど結構忙しい毎日。海外にいても殆どは日本人同士の付き合いになる。そしてその社会は狭い。そんな生活に

流されているうちに、このままでいて果たして日本に帰ってから社会復帰が出来るのかという焦りを感じ、何か他にやるべき事があるのでと考えるようになっていった。

子供が三歳になり、プレスクールに通い出すようになると、私は密かにオハイオ州立大学(OSU)に通うことを考え始めた。初めは漠然と、聴講生でもよいから何か興味のもてる講義を聴きに行きたいと思っていた。そのうちに、どうせならいずれ日本に戻ってから仕事の役に立つ医学の勉強をしたいと思い始めた。まず、大学から資料を取り寄せ、留学生として入学するのに必要な書類、パスポート、ビザのコピー、医技の卒業証明書、成績証明書、臨床検査技師免許証、学部の主任教授宛ての自筆の手紙等をそろえた。最初は学生課の留学生担当の事務官の面接を受け、なぜ、どういふ目的で勉強したいのかたずねられた。その時の答えに「漠然と」は許されない。はっきりとした目的が要求される。私はOSUでアメリカの医学を学び日本に帰ってから自分の仕事に役立てたいと答えた。それから、病理の主任教授の面接を受けることになった。学生課での面接の時と同じく勉強をする目的などをたずねられた。すでに日本で検査技師として働いていたことから大学ではなく大学院で学ぶことを勧められた。雑誌を交えた和やかな雰囲気の内に行われていた面接は俄に口頭試問に変わった。「エイズにおける病理学的特徴について」だった。免疫力の低下とカリニ肺炎しか思い浮かばない。全く不意をつかれて戸惑った。「カポジ肉腫は？」と聞かれて(そうだった。)と思ってももう遅い。普段の不勉強を恥じた。しかし意外にもドクターロットは「留学生は皆最初はこんなものだ。英語がネックとなって挫折する学生が多いががんばりなさい。すぐにでも来てかまわないから。」と励ましてくれた。だめかもしれないと思っていた私にとって、なんだかきつねにまつまされたような話だった。そしてその秋のクウォーターでは赤字で輸血学の講義を受けることになった。病理の新入生歓迎

パーティーにも招待された。しかしその年の暮れから、大学の事務からしきりにTOEFL (Test of English as a Foreign Language) 外国語としての英語学力テスト)を受けるようにと手紙で言ってくるようになっていった。そしてTOEFLを受けるためにまず大学付属の語学学校で学ぶことを勧めるといふ。その授業料は何千ドルという単位だった。しかし、我が家にはそのような経済的余裕はない。だが考えてみればそれは当たり前のことで、TOEFLは留学生のための入学試験であり、それを受けない学生になれる筈はないのだった。今まで私が殆ど無試験ですんなり受け入れられたのは何かの手違いだったのだ。それから約半年間、家庭教師

の助けを借りながら殆ど独学でTOEFLの準備に備えた。もちろん、主婦業、母親業をこなしながらのことなのでプレスクールの送り迎えの車の中、炊事、洗濯をしながらヒアリングのテープを聞くことが日常になった。TOEFLでよい成績を取るためには高度な英語力を要求される。大きく分けるとグラマー、ヒアリング、リーディングの三パートになり、それぞれ相当な数の質問に答えていく。しかも、いずれも内容はハードだ。時間は圧倒的に足りない。ヒアリングにおける長文の聞き取りなどは記憶力も駆使しなければならぬ。メモを取ること是一切許されない。長文を注意深く聞いて記憶し、後から質問に答えなければならぬ。

の助けを借りながら殆ど独学でTOEFLの準備に備えた。もちろん、主婦業、母親業をこなしながらのことなのでプレスクールの送り迎えの車の中、炊事、洗濯をしながらヒアリングのテープを聞くことが日常になった。TOEFLでよい成績を取るためには高度な英語力を要求される。大きく分けるとグラマー、ヒアリング、リーディングの三パートになり、それぞれ相当な数の質問に答えていく。しかも、いずれも内容はハードだ。時間は圧倒的に足りない。ヒアリングにおける長文の聞き取りなどは記憶力も駆使しなければならぬ。メモを取ること是一切許されない。長文を注意深く聞いて記憶し、後から質問に答えなければならぬ。



オハイオ州立大学構内
初代学長の銅像前で筆者と長男

読解も同じくかなり長文を限られた時間内に読み、質問に答えなければならぬ。両方とも出題のテーマは自然科学、医学、工業、文化、歴史、芸術など多岐にわたる。更に小論文を書かされる場合もある。テーマは、

その場で与えられる。私は勉強をするに当たり「家族を決して犠牲にしない」と心に決めていたが、それを守るのは大変なことだった。事実、勉強ははかどらなかつた。三回目の挑戦で漸くOSUの合格ラインのスコアを取る事ができた。

晴れてOSUのマスターの学生になり、臨床病理学、臨床血液学、細胞遺伝子学、免疫学などのレクチャーを受けていった。時には実習やデイスカッションもあった。

まだ寝ている子を残し、朝一番の講義に出るため夜明け前に家を出ると、ちょうどハイウェイの橋に差し掛かるあたりで太陽が地平線を真っ赤に染めながら昇ってくる。子供を寝かしつけてから真夜中に試験勉強をしたりパソコンに向かってペーパーワークをこなしたりは、若いときと違って体にかなりこたえた。家族を犠牲にしないと誓ったはずなのに、週末に図書館で

文献を探したりパソコンで表を作る時など主人にも随分協力してもらった。好成绩を取めることは難しかったが単位を落とすことはなかった。忙しく、大変でも何にも変え難いすばらしく、充実した日々だった。

昨年の秋、突然帰国することになり、実は現在もOSUに籍を残したままになっている。指導教授のドクターシールは別れ際に「いつでも帰っていらつしやい。」と言ってくれた。この先、再びOSUに戻れることがあるかどうかわからないが、ドクターシールの言葉は暖かくありがたかった。

日本に帰って来てからは残念ながらもまだOSUで学んだことを生かすチャンスには恵まれないうが、いつか生かすことが出来たらと思っている。アメリカ駐在は思いがけなく、アメリカで学ぶチャンスという素晴らしいプレゼントを私に与えてくれた。

吹雪の中、私と一緒に初めてアメリカの地を踏んだ息子も今年九歳になった。彼がいつか大きくなったら、アメリカで学んだ思い出を苦勞話もおり交ぜながらゆつくり語ってみたいと思っている。

平成十一年度

同窓会総会

初夏の風さわやかな季節を迎え平成十一年度の同窓会総会が五月二十三日に行われました。今回は久しぶりに母校での総会、各部会の出席者百五十五名、来賓八名、合わせて百六十三名の盛況でした。

総会の議事は視聴覚教室で行われました。司会の黒澤教子姉(経専)により、湊会長の挨拶に始まり議事はとどこおりなく進められ予定の時刻に終了しました。役員の出選は、引き続き現在の役員が留任することに決定しました。

場所を移し、第二カフェテリアで第二部の懇親会が、中川悦姉(経専)司会により行われました。来賓のご挨拶は森本晴生新理事長、各校の来賓の先生方よりお言葉を頂きました。乾杯は、はるばる山形から出席された星信子支部長(高女)の音頭により祝われました。

この日のお弁当は短大の校内の同窓生手作りの心のこもったお弁当で、配慮が行き届いており、一同感心して舌つづみを打ちました。東京文化ならではのことです。

今回は母校での会であり何十年振りで母校を訪れた方も多数あり、しばし校庭で昔をなつかしみ、母校の発展ぶりに感激され有意義な総会でした。

学園理事長に

森本晴生先生就任

この四月から五月にかけて東京文化学園の役員の方々が大幅に変わりました。

以前からご高齢を理由に辞意を表明されていた大久保安威理事長が顧問



新任理事長に
森本晴生理事が選任された。

れました。森本晴生先生は学園創立者森本厚吉先生の直系であり、東京文化小学校の第三期卒業生でいらつしやいます。兄上の森本光生先生(小学校一期生)も新たに理事に就任され、同窓会としても喜ばしい限りです。

役員人事

就任(四月二十六日付)

- 理事長 森本晴生(新任)
- 常務理事 寺田孝行(新任)

- 理事 橋本正禮(新任)
- 森本光生(新任)
- 監事 田中日出夫(新任 五月二十九日付)

顧問・評議員

- 大久保安威
- (新任)

- 評議員 大森昭三(新任)
- 伊藤一重(新任)

- 退任(三月三十一日付)
- 本間伊佐子(評議員)
- (四月二十六日付)
- 大久保安威(理事長)
- (五月二十八日付)
- 藤井 豊三(監事)

医学技術専門学校

就任(四月一日付)

- 校長 大森 昭三

退任(三月三十一日付)

- 校長 本間伊佐子

学園祭へどうぞ!

今年も十一月二日・三日の両日、学園祭が開催されます。同窓会では同窓生の皆さんから寄せられた作品の展示・即売の他、喫茶、売店を開きますので、ぜひお立ち寄り下さい。なお、バザーの献品は中川理事宛にお届け下さい。

同窓生の近況報告

総会の返信はがきから

専門部から

◆森本厚吉先生ご夫妻の教育を受けてからはや半世紀以上、中国、朝鮮の方々と仲良く学んだことは、またとない楽しい思い出です。同窓会報をいつも感謝して読ませていただいておられます。

◆昭和十九年、学徒動員で工場にでるとき「学生の自分は学問をすること。戦争に勝つても負けても英語を勉強しておくことが大切」との森本校長の言葉が忘れられません。編集の仕事もリタイアした今、地域で読書会を組織しています。同窓の浅田次郎氏のご活躍に声援を送ります。

◆七十一歳となり、教育職はすべてリタイアとともに体のあちこちに故障が起こり閉口しています。森本先生のご薫陶を思い出して、何とか頑張る所存です。

高女部から

◆現在、茶道教室を三つもっており、忙しくしております。
◆カイロプラクチック、整体施

術院を開業しています。

◆四十年来の吟詠を趣味とし、日赤奉仕団のボランティアと地元の高齢者会をしております。
◆東京女子医科大学付属脳神経センターに十二年間勤務し、五十九年から当地(岐阜)に開院しています。

◆卒業して五十四年、毎日動けることに感謝し、友人が大切とつくづく思える日々です。創立者新渡戸稲造先生の偉大さを改めて知り、元経専付属に学んでよかったとつくづく思います。
◆生け花、アートフラワーなど自宅と文化教室で教えています。学校は定年になり、自由な時間が多くなりました。

◆フィリピン・ネグロス島の教育里親をしています。
◆四月の上旬に同期生五人と九州旅行をしました。
◆「幼子のもてなしに酔うひなの宴」湊くに先生のお名前を拝見するたびに懐かしうれしく学生時代を思い出します。

短大部から

◆昨秋、中国山水名勝漢詩部門

国際コンクールに入賞し、上海市にて受賞式の荣誉に預かりました。

◆書道を教え、最近仮名に燃えています。日本書芸院展、読売書道展に出品、入選しました。
◆デパートのアクセサリー売り場で頑張っています。総会には、母と参加します。

医技部から

◆小さいビニールハウスを造り、野菜作りのまねごとをしています。

◆卒業後約三十年間勤めていましたが、先年退職して今再び大學生となつて勉強し、若い人と一緒に楽しんでいきます。

◆震災の折は暖かいお心遣いがありありがとうございます。落ち着きを取り戻し、またお茶を再開したり、元気でおります。

◆昨年十一月に上京した折、三十年ぶりで母校を訪ねてみました。校舎も立派になり、我が子より若い学生にあって、寮で生活した頃を懐かしく思いました。

◆大阪で後輩二人とともに仲良く働いています。

高校部から

◆脳梗塞のため右半身麻痺の夫

と今年百歳になる姑共々、リハビリの毎日です。
◆クラス会を三月末に実施し、二十七名出席しました。私は定年が二年延長になり、現在も勤務しております。

◆石川県で琴曲、生花アトフラーを教えています。
◆主人が亡くなり今年で三年目、ようやく元氣を取り戻し、頑張っています。

◆娘がラーメン屋と焼き肉屋で忙しいため、子守りで大変です。

◆国連に勤務のため、コソボの空爆で難民の大量流出があり、毎日忙しく対応に追われています。

◆毁れていた高校卒業記念のオルゴールが鳴り出しました。卒業して三十八年、今も大事な宝物です。

◆現在、小学校で保健室の先生をしています。娘も短大の卒業生で、親子二代の同窓生です。
◆フードコンサルタントとしてアレルギー患者さんのための食事療法、食品開発の事業に励んでいます。

◆五十代のはじめ、何か新しいことに挑戦してみようと、宙吹きガラス作りを始めました。

◆いつもお知らせありがとうございます。総会当日は茨城でコンサートがあり、残念ながら欠席します。

◆膠原病で左足先切断、パーキンソン氏病があり、リハビリで大変です。

◆一級建築士試験に合格しました。
◆ロンドンへ転勤して七年余、未だに独身でOL生活をしていません。

◆就職活動が始まり、忙しい日々を過ごしています。新宿駅を経由しますが、制服を細工して着用する東京文化の生徒が多く見られ、残念に思います。

◆大学二年に進学し、充実した学生生活を送っています。八海山麓スキー競技会で新人賞をいただきました。

◆十三年前に改めてカウンセリングを学び、その後も研究会などで勉強を続けています。

◆ヤマハ音楽教室で仕事をしています。一度きれいになった小学校へ行ってみたくと思っています。

◆中野区の幼稚園に勤務していますが、卒園児が文化小学校にお世話になっており、うれしく思っています。

◆小学部から

” VERITAS VOS LIBERABIT ”
「真理は汝等に自由を与う」 (新約聖書ヨハネ8章)

沿革

- 昭和 2年 女子文化高等学院を京都市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和 3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和 6年 所在地現在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和 8年 新渡戸稲造校長逝去により、森本厚吉が校長に就任する。
- 昭和 9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。
- 昭和37年 森本厚吉博士の銅像を学園内に設置する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区に校地を購入。東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙げる。東京文化学園五十年史刊行。
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田一丁目に竣工する。
- 昭和56年 医学技術専門学校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 森本武也が名誉学園長に就任し、短期大学長に理学博士佃正実が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。
- 平成 4年 医学技術専門学校長に医学博士本間伊佐子、ビジネスアカデミー校長に大久保忠昭が就任する。
- 平成 6年 中学高等学校長に小林弘志一郎が就任する。
- 平成 7年 短期大学長に理学博士村松一郎が就任する。小学校長に山田庸夫が、幼稚園長に丸 翠が就任する。
- 平成 8年 新渡戸稲造博士の銅像を学園に設置する。
- 平成10年 幼稚園長に山田庸夫が兼務する。
- 平成11年 大久保安威が顧問に就任し、森本晴生が学園理事長に就任する。医学技術専門学校長に医学博士大森昭三が就任する。



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

卒業生の皆さんへ

理事長 森本晴生

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数二万人余となりました。

創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3H精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとな

ついでいます。

また、卒業生のお子さんやお孫さん方が母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園によって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。

同総会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいております。

東京文化学園
入学案内無料頒布

(小学校は有料)
入学案内をご希望の方には、無料で頒布しております。各学校の教務にご請求ください。

一昨年は創立七十周年を迎え、皆様のご協力のもとに学園は着々と発展を続けております。
十一月二日、三日に開催される学園祭では昨年に引き続き「学園の歴史展」を開く予定です。多数の皆様のご来園をお待ちしております。

短期大学の近況

同窓会群馬県支部総会に出席

—— 学長

かねてから同窓の皆さんに親しくお目にかかってお話しできる機会を持ちたいと思っておりましたが、五月三十日開催の表記支部総会に新理事長とともにお招きを受け出席しました。申す迄もなく、現在私立学校は卒業生の物心両面にわたる支援がなければ維持発展は不可能になっていきます。ただそのような同窓生の支援を期待するためには、学校としても内容の充実にも努める一方、その現状を皆さんによく知っていただくことが大切と思われまふ。このために今回ような機会が得られれば、是非参上して大学の近況のご報告や、学生募集へのご協力などをお願いしたいと思つていきます。

森本新理事長からは今後の学園運営についての抱負が述べられ、さらに四年制大学設置の計画について現在までの状況の説明があり、同窓の皆さんの今後の支援を要請されました。

私からは短大の最近の状況について説明しました。栄養士養成については主として管理栄養士試験の受験資格の改正をめぐる動きな

た。

どを、さらに新しく明年度から開設するフードスペシャリスト資格取得コースや、すでに設置している余暇生活相談員資格取得コースなどを説明しました。また今回の訪問の目的の一つとして学生募集へのご協力をお願いすることがありましたので、持参した資料を参考に推薦入学制度などについてご説明し、ご協力をお願いしました。また最近撮影したビデオで短大施設の現況を紹介しましたが、しばらく短大を訪ねておられない方々の興味をひいたようでした。

群馬支部訪問ということで、はじめにお会いする方がほとんどでしたが、ご出席の皆さんの自己紹介を伺うと、皆さんが、短大で受けた教育からその後の人生に、いかに大きな活力を与えられたかということを語られていて、伝統の大切さを痛感しました。多くの皆さんがすでに第一線をひかれていますが、働ける以上は何か人の役に立ちたいと思ひから、これまで経験を生かしながら後進の指導やボランティア活動を続けているという方が多く、3H精神のあるべき姿を示しておられる同窓の皆さんから深く感銘を受けまし

た。この地の支部としてはずいぶん久しぶりの支部総会とのことで、今回はあまり年数をあけずに開催したいとのことでした。若い方々もぜひ多数出席されて、ますます盛大になるよう祈っています。また、この紙面をお借りしてお願い申しあげたいのですが、このような機会が他の地区でも与えられれば、是非出席して学園、短大の近況をお話しして、その発展へのご協力をお願いしたいと思つていきますので、各地区の皆様からのご連絡をお待ち申しあげます。

フードスペシャリスト資格 導入

短大では教職課程を設け、長いあいだ中家庭科教員を養成してまいりましたが、二〇〇〇年度よりこれを廃止し、新たにフードスペシャリスト資格を導入することにいたしました。

教職課程を廃止した理由はいくつかありますが、その主なものは①現在の社会情勢では、教職免許を取得したとしても、教員としての就職はほとんど不可能なこと、②教職課程を残すには文部省から今回再課程認定を受ける必要があるが、それによると教育実習期間がボランティア実習を含めると五週となり、他の授業の受講が著しく不完全になること、③二〇〇〇年度から教科に関する

科目数が減少し、教職に関する科目数が増加するため、本学のように単科の短大では教育効率が非常に悪くなること、等です。

新たに導入するフードスペシャリスト資格は、日本フードスペシャリスト協会が認定する資格であつて、本学などのような養成機関認定校において所定の単位(必修二十一単位以上)を取得した後、資格試験に合格した学生に与えられます。

フードスペシャリストは食品の専門家ですが、食品の生産や加工ではなく、流通や販売といった消費者に近い分野で仕事を専門家です。具体的にはデパートやスーパーや消費者センターの食品売場、レストランなどで働き、個々の消費者に合った食品を勧めたり、売場をコーディネートしたりします。

従つて短大では、食材料、食品の安全性、官能評価、調理学、栄養と健康、食品流通、フードコーディネイト論などを学びます。これらの科目は食物栄養コースで教える科目に近いのですが、取りあえず最初は人間環境コースの学生が対象となり、一九九九年四月入学の学生から、希望者はこの資格が取れます。

従来ある栄養士に新たに食に係る資格が加わり、本学は食専門の短期大学としてますます発展するものと思つております。

学生募集要項 家政科

家政科女子 150名
(推薦入学90名、試験入学60名)
■食物栄養コース(栄養士免許)
■人間環境コース(余暇生活相談員資格)
(フードスペシャリスト資格)

同窓会の皆様、
お知り合いをご紹介ください。
(窓口：学長・教務部長)

お問い合わせ
短期大学教務部 03-3381-0197

出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目および必要書類
推薦入学	11月1日～ 11月9日 必着	11月12日	11月13日 郵送	●面接 入学志願書・調査書 推薦書
	1期 1月20日～ 1月27日 4時必着	2月1日	2月2日 本学掲示	●国語Ⅰ・Ⅱ(古文・漢文を除く)、 生物ⅠB、化学ⅠB、英語Ⅰ・Ⅱ の4科目より1科目選択 ●面接 入学志願書、調査書
2期 2月17日～ 2月24日 4時必着	2月29日	3月1日 本学掲示		

医学技術専門学校の近況

大森昭三先生を 校長にお迎えして

平成四年四月より七年間、校長として学生のご指導にあたられた本間伊佐子先生が本年三月をもってご退任されました。



大森先生は長らく東京通信病院第二臨床検査部長を務

められ、日本の検査部の自動化の発展に大きな力を発揮されました。本学では昭和四十七年より生化学、臨床化学の講師として、また教育顧問として学生教育にご尽力下され、卒業生の大半が先生のご指導を受けて育ちました。現在の臨床検査は遺伝子やDNA関連の検査なども主要なものの一つになりつつあります。このような折に先生をお迎えできたことはまことに喜ばしいことであり、今

後、医学技術専門学校がますます 発展していくにあたって大変有り 難いことです。

(学生課長 佐伯かよ子)

専門学校から四年制大学へ 編入学についてのお知らせ

昨年学校教育法等の一部を改正する法律が成立したのに伴い、文部省は一定の要件を満たした専門学校卒業者に大学への編入を認め、また学位授与認定の基礎資格も与えることになりました。これに伴い本校医学技術専門学校の昭



看護・介護実習(二年生)

和五十一年度(昭和五十二年三月)以後の卒業生は現在の東京医科歯科大学の臨床検査学科や杏林大学他で三年に編入が可能になり、放送大学の教養学部、福祉学などにも編入が可能です。(本年四月に編入した卒業生は六十数単位が認定され三年に在学中です)

キャリアアップに、生涯学習にぜひ役立てていただければ幸いです。なお単位取得証明書については教務までご連絡下さい。

卒業生の就職状況

本年三月卒業生の就職は社会情勢の動きにまさに左右されたと思われました。医療界でもコストの削減、具体的には人員削減、外注化、プランチ化が急増した中で就職活動は大変でしたが、幸いわが校卒業生の就職希望者全員が学んだ専門知識を生かして就職し社会に歩み出しました。これは新卒業生の自らの努力、教務との連携プレー、諸先輩方の実績とのお陰でできたことと思います。卒業生の皆様、今年も新卒業生の進路確保にお力添えをいただきたく、お願いいたします。

平成十一年三月卒業生就職先

東京大学病院(1)、東京大学医学部

- 薬理学教室(1)、千葉大学病院(1)、東京医科歯科大学医学部薬理学教室(1)、順天堂大学病院(1)、順天堂大学浦安病院(1)、昭和大学病院(1)、慶應大学病院(3)、慶應大学教員(4)、聖マリアンナ医科大学(1)、慈恵医科大学病院(3)、慈恵医科大学(第二内科)(1)、大蔵省印刷局東京病院(1)、東京都立駒込病院(1)、東京都立大塚病院(1)、心身障害児総合医療養育センター(1)、静岡赤十字病院(1)、虎の門病院(1)、駒沢病院(1)、荻窪病院(1)、小野村病院(1)、練馬総合病院(1)、小張総合病院(1)、藤村病院(1)、亀田総合病院(1)、鎗田病院(1)、勝楽堂病院(1)、社会保険第一検診センター(1)、筑波メデイカルセンター(1)、板橋中央総合病院グループ(3)、松田クリニック(1)、福田ウイメンズクリニック(1)、アモルクリニック(1)、石沢クリニック(1)、井上外科胃腸科病院(1)、西山耳鼻咽喉科医院(1)、鈴木クリニック(1)、いびき睡眠呼吸障害クリニック(1)、大塚東京アッセイ(4)、住友金属バイオサイエンス(1)、保健化学研究所(1)、関東予防医学センター(1)、(株)エス・アール・エル東京ラボラトリー(1)、メルシャン・クインテック(1)、国立医薬品食品研究所(1)、国立健康栄養研究所(1)、(株)シマ研究所(1)、香取保健所

()内は人数です。

学生募集要項

募集人員 64人(女子のみ)
 修業年限 3年
 入学資格 高校卒業
 出願書類 入学願書、出身校の調査書、健康診断書、推薦入学の場合は出身校の推薦書

お問い合わせ 医技事務室 03-3381-0121

選考方法	推薦入学	試験入学
願書受付	平成11年10月1日(金)~10月8日(金)	平成11年11月15日(月)~12月7日(火)
選考日	10月12日(火)	12月9日(休)
合格発表	10月13日(休)	12月10日(金)
試験科目	「数I、化IB、生IB、物IBから2科目選択」・面接(推薦・一般共通)	

* 二期募集があります。 詳細は「学校案内」をご覧ください。

中学高等学校

教育目標

「国際的な感性を身につける人格教育」すなわち新渡戸稲造先生のセンスオブプロポーション、「人間は生まれ育った環境が違うのだから、それぞれの考え方やものの見方が違うのは当然である。その違いを認め合い、受け入れられる寛い心を持つことが大切。これが国際的な感性である。」の教えを受け継いで、日々の教育実践が行われています。この感性を身につけるためには新渡戸稲造先生のモットー「大平洋の架け橋になれ」と創立者森本厚吉先生のモットー「3日精神を身につける」とこそ重要であり、生徒達はそのため努力を積み上げています。

ように、生徒が自主的に選ぶことのできる選択制度を生かしたカリキュラムを編成しています。これらの科目の履修を通して、学習に対する興味を高め、ひとりひとりの個性を伸ばし進路希望に見合った教育に取り組んでいます。

○6カ年の完全一貫教育

中等教育の6年を3期に分け、より充実した一貫教育をめざし、高1〜高3を4年生〜6年生と呼んでいます。中学生は全員が東京文化高校に進学できます。ですから受験勉強のための偏った学習にならず、ひとりひとりの個性を伸ばすことに重点をおいた教育ができます。今年度、中学1年生より数学、中学2年生より英語の習熟度別授業を導入し、到達度に合った授業を実践することにより、生徒の到達度を上昇させます。

基礎力を身につけた中学生が高校2年生より始まる進路に対応したカリキュラム。I類型は総合的な基礎学力を養う必修と自由選択の科目、II類型は大学受験のための文系・理系の科目を重点に設定しています。行き届いた指導ができるよう、選択科目のークラスの人

○ひとりひとりの夢の実現を
 中学・高校の6年間は、それまで漠然としていた夢が少しずつカタチになっていく大切な時期で、自我の確立と共に個性的なものとなり、それぞれの将来に続いていきます。そうしたひとりひとりが持つ異なる関心分野や希望進路に合わせて、効果的な学習ができる

数は少なくしています。

○情操教育の充実

国際的な感性を大切にするためには個々の精神の安定が必要で、日本文化を学ぶということから中学1年生は茶道を、中学2年生には華道を全員学習します。



茶道

高校生には礼法やマナーの指導として外部より講師を招き、社会の中での規律を学びます。登山家の田部井淳子氏やコミュニケーション評論家の丸山浩路氏、性教育として、人間と性教育研究所所長の山本直英氏、日本家族計画クリニック所長の北村邦夫氏など招聘して生徒の意識向上に取り組んでいます。また心豊かな人間になるために行事やクラブ活動も大切な役割を果たしています。

高校では2年前より平和を学ぶテーマのもとに沖縄へ修学旅行に行き、多くの民間人が命を落としながらガマ(壕)に入り、当時のまま

の世界に触れ、生きる喜びを学習します。クラブ活動では、対外的な活躍も顕著になると同時にボランティア活動の手話クラブもでき、心の成長を目ざしています。

○自分のために学ぶ週五日制

ますます多様化する21世紀をふまえ、受験のテクニックや詰め込み式学習ではなく、生徒がそれぞれの関心分野や希望進路に合わせて自ら求めて学ぶ自発的な学習態度の指導に努め、その一環として18年前から五日制を実施しています。1年から4年までは余暇の使い方、学習の習慣化に重点をおき、5・6年では自分の進路に対応した学習等、各自でいろいろな取り組み方をしています。それが「5日通学・6日学習」のライフスタイルです。

○英語力の向上

国際性を身につけるひとつの条件として英語が話せ理解できることがあげられます。中学生は週6時間授業があり、その内1〜2時間はネイティブスピーカーによる英会話が行われています。高校になると1年生は全員週6時間の授業を受けます。その内2時間はオラルコミュニケーションBです。英語Iは習熟度別授業と共にクラスを増やして少人数で実施します。高校2年生以降は生徒の希望を重視し、週3時間から10時

間受けられるようにしています。選択科目のオラルコミュニケーションA・Cは、もちろんネイティブスピーカーが教えます。15人程度を一クラスにして今年度は三クラス同時に実施しています。さらに身近な言葉になるように校内の施設名は英語で表示しています。

英検は中学3年修了までに3級を、高校卒業までには2級を取得できるように、MM教室のコンピュータには英検ソフトをすべて導入し、生徒は自分のID番号を登録し、放課後いつでも自分の到達度に合わせて学習できるようになっています。平成11年の一学期には2級と準2級に34名の生徒が合格しました。

またEnglish Communication Roomでは、授業中とはより、放課後もネイティブスピーカーや留学生たちと生徒たちの交流の場になっています。設置されているパソコンで外国の情報やEメールでの交換ももちろん可能です。



MM教室

○国際性の実践

モットーでもある“大太平洋の架け橋となれ”を實踐して、カナダ研修旅行は23年目をむかえました。10年度より、そのモットーをさらに充実するために、カナダのケローナセカンダリースクールと、バーノンセカンダリースクールの両校と姉妹校を結びました。これにより、交換留学制度がスタートし、高校1年生一名、高校2年生一名の二名が第一回の交換留学生となりカナダに向け出発し、今年7月に一年間の留学生生活を終えて帰国しました。



留学生活を楽しむ竹内さん(左)と鈴木さん(右)



今年9月より八名の生徒が一年

○充実の進学指導

前述のように、英語教育に全力をあげて力を注ぎ、英検の資格取得を積極的に推奨し、他校にない英語力のレベルアップを計っています。中学から高校まで6年間の一貫した教科指導による基礎力の定着、高2から始まる類型制による自発的な学習の取り組みと同時



教室でクラスの仲間と

に、受験科目を効率的に学習するシステム、また夏季講習、毎日の補習や習熟度別学習などにより、実績をあげてきています。6年後の将来像を描けるよう、進学に力をそそぎ、東京六大学をはじめ希望する進路への合格をめざした指導をすることが3H精神の実践であり、視野の広い国際感覚を身につけた女性を育てることと信じています。その実践が徐々に成果をあげています。大学の進学率は75%です。参考に学校名を載せておきます。

○健康を考えた昼食

学園には現在3つのカフェテリアがあります。第二カフェテリアでは高校生の希望者に毎日定食が用意されています。さらにここでは放課後、アイスクリームやジュ

ースを飲みながら友達同志の語り合いです。第三カフェテリアは中学生全員の完全給食が実施されています。この給食は各方面より注目され、読売新聞でランチタイムとして取り上げられました。

以上のように本校は伝統ある教育理念を基礎に、毎年常に新しい教育活動を展開して生徒の役に立つことを、そして保護者の期待を受けとめながら、教育を行っています。

ご家族や親戚の方、またご近所の方々で、小6女子・中3女子のお子さんがいらっしやいましたら、ぜひ入試説明会にご参加するようお話しください。

4年制大学

- 筑波大、青山学院大、亜細亜大、跡見学園女子大、大妻女子大、桜美林大、鎌倉女子大、北里大、共立女子大、慶應大、恵泉女学園大、國學院大、国士館大、駒沢大、駒沢女子大、実践女子大、順天堂大、十文字女子学園大、淑徳大、昭和女子大、成蹊大、聖徳大、清泉女子大、専修大、拓殖大、玉川大、中央大、帝京大、東京女子体育大、東京農業大、大東文化大、東洋大、日本大、日本歯科大、日本体育大、文化女子大、文京女子大、法政大、武蔵野女子大、明星大、目白大、立教大、麗沢大、早稲田大、ルーテル学院大、他

2年制大学

- 青山学院女子短大、亜細亜大短大、跡見学園短大、桜美林短大、大妻女子短大、嘉悦女子短大、カリタス女子短大、川村短大、駒沢女子短大、昭和大学医療短大、聖セシリア女子短大、聖母女子短大、淑徳短大、昭和学生短大、女子美術短大、成城短大、玉川学園女子短大、調布学園女子短大、帝京女子短大、東京家政短大、東京女子短大、東京女子体育短大、東京成徳短大、東京農大短大、東邦大学医療短大、東洋女子短大、東横学園女子短大、日本女子体育短大、文化女子短大、文教女子短大、武蔵野女子短大、目白学園女子短大、山脇学園短大、立教女学院短大、他

平成12年度入試説明会

- 中学説明会 ①10/9(土)10~12時 ②10/23(土)同上 ③11/13(土)同上 ④11/27(土)同上 ⑤12/4(土)同上 ⑥12/11(土)同上 ⑦1/15(土)同上
- 高校説明会 ①10/9(土)2~4時 ②10/23(土)同上 ③11/13(土)同上 ④11/27(土)同上 ⑤12/4(土)同上 ⑥12/11(土)同上

★参加者の皆様に入学案内および要項をさしあげます。★来年度の入試問題を予想いたします。★説明会は第2カフェテリアで行います。

	入 試 要 項				
	募集人員	入試科目	願書受付	入学試験日	合格発表日
中 学	①ベストワン A	45名	国語 算数	①1/20(木)~1/31(月)	2月1日(火)
	②セレクトワンA			②1/20(木)~2/1(火)	
	③ベストワン B	23名	国語 算数	③1/20(木)~2/1(火)	2月2日(火)
	④セレクトワンB			④1/20(木)~2/2(火)	
	⑤セレクトワンC	10名	国語 算数	⑤1/20(木)~2/3(火)	2月3日(水)
3Hスカラシップ					
高 校	推薦	普通科 45名	面接	1/18(火)~2/20(木)	1月22日(出)
	ベストツウ試験	普通科 45名	国語・数学 英語	1/25(火)~2/8(火)	2月10日(木)または11日(金)

※中学入試 ベストワン…2科目受験し点数の高い科目での合否判定 セレクトワン…出願科目を選択し、1科目受験する
高校入試 ベストツウ…国・数・英の3科目受験し、得点の高い2科目の合計で合否判定する。
※中高ともに3Hスカラシップ入試があります。合格者には授業料免除の特典を与えます。

東京文化小学校の 夏季高原学校

小学校教頭 佐藤 誠

今夏で、浅間高原学校は第三十六回、蓼科高原学校は第四十九回を数えるに至りました。どちらも初期の頃と比較すると、内容においての違いが出て来ておりますので、同窓生の方々に現在の小学校の高原学校の様子をお知らせしていきたいと思っております。

浅間高原学校

三泊四日で二年生と三年生が全員参加しています。

七月十四日朝、学園ガーデンに朝八時に集合し、礼拝の後、群馬サファリパークを目指して出発。

サファリパークでは観光バスに乗ったまま、園内を見学することが出来ます。人なつこいキリンがバスの窓近くまでやって来て子どもたちは大喜びでした。猛獣ランドのライオンやトラ、草食ランドのシマウマやアフリカゾウなどの大型の動物はなかなかの見ごたえでした。途中、バスから降りて、羊やウサギに触れることのできるふれあいコーナーもあり、子どもたちには充実のひとときでした。第一日目の行程は二通りあって一年毎に代わる代わる実施してい

ます。一つは「群馬サファリパーク」、もう一つは「アンデルセン牧場」です。

高原寮到着後、この日は自然豊かな寮内での遊びがメインです。夕食の音が掛かるまでグラウンドや原っぱでボール遊びや虫捕りに夢中になっていました。

二日目は高原寮の施設をふんだんに生かし、一日、寮の中で過ごしました。

午前中の「工作コーナー」では、「紙飛行機作り」「草であそぼう」「新聞紙であそぼう」「フリスビー作り」などのコーナーがあり、子どもたちは希望するものを二つ選んで前後半に分けて取り組まれました。

午後の「追跡ハイク」は、班ごとに行動し、先生から出される問題を解いていきました。この日の夜も自由時間でした。先生たちも自分の担当の部屋におじゃまして一緒にあそぶようにしています。

三日目は「白糸の滝」へバスに乗って出掛けました。峰の茶屋で降り、高原の爽やかな風を受けながら白糸の滝まで小一時間林の中を歩きました。

来年は、白糸の滝に代わって溶岩流の名残りをとどめる浅間園鬼押し出しへ出掛けます。

最終日は、例年以上に力を入れて、四日間お世話になった高原寮の清掃にとどめました。

蓼科高原学校 (四・六年)

二十五年前の行程とはずいぶん違っていると思います。討議に討議を重ねて現在のようになりました。

【現在】

第一日 (八島が原湿原)(車山)

(横岳ロープウェイ)の順に行きの途中に立ち寄っています。今年は(八島ヶ原湿原)でした。ホテル到着後は開会礼拝、そして休息。夜は自由時間。

第二日

八子ヶ峰のハイキング。午後は休息と創作ダンスの部屋内での練習。この日の夜も自由時間。部屋担当の先生はできるだけ子どもたちと遊ぶことにしています。

第三日

四グループに別れて行動。全て希望者制。「鷹山ファミリー牧場」班約五十名は、ソーセージ作り、チーズ作りなどを楽しみました。

「釣り」班八名は、親湯ホテルすぐ前の川でヤマ

第四日

午前は大滝キャンプ場での飯盒すいさん。火おこし、カレーライスの味つけも皆んな自分たちでやりました。午後は三時から創作ダンスの発表会。



蓼科高原学校 渓流釣り



蓼科高原学校 鷹山ファミリー牧場 ソーセージ作り

第五日

帰り支度です。反省会もしつかりやった後、十一時三十分にはホテルを出発しました。

いかがでしょうか。浅間高原学校、蓼科高原学校のどちらにも言えることですが、以前よりもいっそう目的の周辺の自然環境を生かし、宿泊施設を有効に利用する内容に変わってきていると思います。

また、「自主性の育成」「体験」「ゆとり」にも気を配っています。今後も伝統を大切にしつつ、よりよい高原学校を考えていきたいと思っております。

♪ ようちえんだより ♪

連絡帳を通して

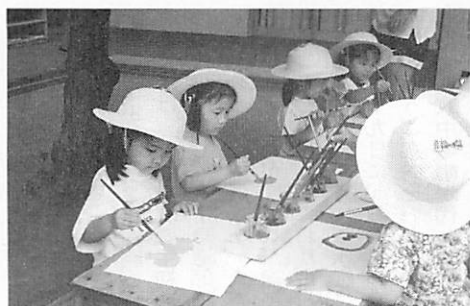
今年も幼稚園は新しい子どもたちを迎えて、一年をスタートしました。三歳児の子どもたちにとって幼稚園の門はとて大きな入口だったことでしょう。

見るもの、聞くもの、すべてが初めての子どもたちにとって「幼稚園」という場所は様々な経験の場でもあります。初めて歌う歌、初めてのお友達、初めての給食やおやつ…。年中組や年長組にとつ

て当たり前のことも、ひとつひとつが新鮮で、期待や不安でいっぱいです。

子どもたちは園で経験したことをお母さまにいろいろと報告をします。しかし言葉が未熟なために上手に伝えることができませんので、担任からその日の様子などをお知らせしています。

子どもたちの思わぬ行動や発言は驚くことばかり。いつもどんなことを書くのかと悩んでしまっています。



絵の具あそび



ジューズ屋さんこっこ

苦手なものが食べられたこと。園庭での遊びに参加したこと。歌を大きな声で歌えたこと。

お子様の様子を知らたくて心配されていたお母様も様子がわかりホッとされるようです。そして子どもたちが各家庭に戻り、幼稚園の様子を話したり、経験したことを再現している姿をお母様が連絡帳に書いてくださいます。

「給食でいろいろ食べられたので休みの日にパパに嬉しそうに話しています。」「きみどりのキウイも食べられたの。」「

「幼稚園でキャベツを切ってたから家でも『お手伝いをする』と言って、危なっかしい手つきで果物ナイフを持ち、何でも切ってくれます。」「

こんなお返事をいただく、その様子が目に浮かび、嬉しくなってきました。お母様もきっと同じ気持ちで連絡帳を読んでくださっているのだと思うと、毎日伝えたいことではないでしょうか。

子どもたちの家庭での様子を知ることは、日々の保育の中でとても大切です。特に小さな子どもたちの生活の中には伝えられない思いや不安、また楽しみや喜びが様々な形になって表れてきます。ですから家庭との連絡というものには欠かせません。お母様との連絡帳のやりとりの中で気づいたこと、感じたことを配慮して個々の園生活を大切にしています。

一学期、夏休みを終え、様々な経験を经た子どもたちは興味の幅も広がり、これから様々なことに挑戦していくことでしょう。二学期も多くの経験の中で、ひとりひとりの育ちの時を見守り、お知らせすることを楽しみにしています。(毒島清美)

子どもの教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育を巡る諸問題が、新聞の社会面ににぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、ひとりひとりのお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手になりたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生にご協力をいただいて、「子どもの教育相談室」を開設してから十五年目を迎えました。

石井先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究所の所長でいらつしやいます。

お子さまの発達が順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽においでください。

お一人のご相談所要時間は、約一時間三十分です。相談には子どもたちの生活研究所の山本清恵先生があたります。

予約により時間を決めますので幼稚園(電話三三八一-二一八三)までお申し込みください。相談料は五千円です。

”ブレイデー”

11月3日(休) 10:00~2:00

学園の展示の会の二日目、幼稚園では例年ブレイデーを行っております。

子ども達の作品やお母様のためのフラワーデザイン、刺繍教室の作品展示をしておりますので、どうぞご覧ください。

平成十一年度

園児募集

公開保育日 9月30日(休)

入園説明会 10月20日(休)

願書受付 11月1日(月)のみ

入園児諸検査 11月1日受付順に実施

三歳児男女 40名
四歳児男女 10名
五歳児男女 若干名

を募集します。幼稚園案内を配付いたします。

お問い合わせ 東京文化幼稚園

三三八一-二一八三

岸眞子先生をお偲びして

専 員 旧職員 森田幸子

岸眞子先生からは、四、五年前までは、年に一度の年月初めのご挨拶に對し、ご息遣郎様と連名の端正なお返事をいただいておりますが、それが途絶え、ご案内をいただきましたところ、この四月にご永眠になり六月十九日に、お別れの会を、というご案内をいただきました。在京中の娘が代わって出席させていただきました。

先に森本儂子先生、白鳥雅子先生、そしてそのずっと前に新井田広子先生と、後年、眞子先生がご活躍中にご健在でした諸先生がご逝去になりました後だけに当時の思い出が走馬灯のように駆け巡りました。

昭和十三年頃、私が附属高女を卒業後に専門学校本科に入学いたしました時に、先生は高女で国語の先生でいらつしやいました。森本厚吉先生が東京女子大にお願いに行かれた時「先生の学校に最適の方」と推薦されたのが村上眞子先生と伺いました。先生の授業中のお声は素晴らしく美しく、「廊下に立ち止まって聞きましたよ」とお

伺いしたのは森本厚吉先生からでした。

卒業式その他のお式の時、村上眞子先生と英語の喜多富美子先生(後に鈴木)のお二人がスマートな長身に黒と濃いブルーのベルベットの制服をそれぞれにお召しになったお姿は今だに忘れることができません。

当時、本科へ通学中の私はお茶の水の文化アパートメントの事務所に夜働いておりました。そして、アパートメントの裏にあった宿舎に住んでいました。英語の喜多先生も、また同じく本科在学中の佐藤操代さん(後に小林)もアパートメントの宿

舎におられました。村上先生は当時、最高級のアパートメントのお客様としてその一室に住んでおられました。

時に夜には村上先生と操代さんが和服姿で厚吉先生の原稿のお手伝いをしておられ、おもしろかったことが思い出されます。光栄にも厚吉先生は、中野の学校から文化アパートメントに帰る村上先生をはじめ私共に、時々新宿でご馳走を下さいました。村上先生は後に桃園寮の寮監先生もなさっておられました。

約十五年後に私が東京文化学園の事務所会計課で働かせていただくことになり、再びお目にかかりました時、先生は岸先生になられ学園の理事でいらつしやいました。橋本寛敏理事長の許、大浜英子先生、箕山保男先生、落合勝一郎先生、我妻緑先生と共に理事として活躍をしておられました。

当時、学園はなかなか経営的に厳しい状態にあり、教職員懇談会が出来、会計の私は、岸先生にお供して諸先生方の質問を受ける立場になりました。その時、岸先生は先生方に「この人を困らせないで下さい」と言われました。

今思いますと、そう言われながら、先生方にはウインクをしていらしたのではないのでしょうか。俊敏なお厳しい反面、弱い者には、おやさしい方でした。本駒込のお宅には書類を持って何度お伺いした事でしょう。淡交会(旧教職員会)で、名付けた方は小田喜禎三先生)の最初の会合を六義園で開くためにお骨折り下さったのも、岸先生でした。丁度今頃の螢の季節だったような気がします。

また最後にお目にかかりましたのは、森本武也学長先生のご葬儀の日で、長靴をはいて、雪の中の帰り途でした。式場から遠くない阿佐ヶ谷の喫茶店で清水澄子さん(元医技勤務・現矢野)とご一緒にコーヒードを馳走していただき、しみじみと、森本厚吉先生、静子先生、武也先生をお偲び申し上げた時でした。

に、心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

岸眞子先生のお別れの会

短 39 東京文化小学校教員 森田愛子

東京文化学園の理事をしておられました岸眞子先生が、ご何年か療養をされておいででしたが、平成十一年四月十二日にご永眠されました。岸先生がお好きでいらつしやいました高輪プリンスホテルで六月十九日にお別れの会が行われました。当日は雨でしたが、学園からは森本晴生理事長先生が出席され、百人余の方々が集われて、岸先生のエピソードなどをおうかがいしながら会食をいたしました。

岸先生は、私の絵の展覧会に何度もおいでくださり、ご激励いただき、また応援してくださいました。心より感謝申し上げます。

岸先生がお若い時から身近にすごしておりました母(森田幸子)が福岡県に住んでおられて上京できず、私が代わって出席させていただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



岸先生の喜寿御祝
(昭和63年11月23日、椿山荘)

会計報告

一般会計収支 (平成10年度) (円)

収 入	会費収入他	5,964,484
	前年度より繰越	944,463
	計	6,908,947
支 出	諸費用	6,200,939
	次年度へ繰越	708,008
	合 計	6,908,947

資産残高 (平成11年3月31日) (円)

一 般 会 計	現預金	14,399,532
施設拡充準備金	現預金	10,486,740
事業部会計	現預金	15,695,197
会報部会計	現預金	560,323

東京文化学園同窓会理事名簿

平成11年10月1日現在

名誉会長	白井 スエノ	166-0013	杉並区堀の内1-10-6	☎03-3312-0428
会 長	渡 くに	175-0094	板橋区成増4-21-3	☎03-3930-6011
副 会 長	長 岡 文	227-0061	横浜市青葉区桜台25-1 4B-202	☎045-982-1153
"	石川 悦子	114-0004	北区堀船3-34-8	☎03-3919-5898
会計監査	赤木 君江	160-0011	新宿区若葉町2-8-7	☎03-3351-4666
"	青木 純子	176-0024	練馬区中村3-5-16	☎03-3999-4212
専 門 部				
幹 事 長	中川 悦	169-0073	新宿区百人町1-21-9	☎03-3361-6474
副 "	篠原 初江	187-0002	小平市花小金井2-31-23	☎0424-65-1997
副 "	黒澤 教子	167-0032	杉並区天沼2-15-2	☎03-3391-7351
副 "	藤原 芳江	164-0003	中野区東中野5-20-14	☎03-3371-4506
短 大 部				
幹 事 長	長井 康子	176-0013	練馬区豊玉中2-25-10-203	☎03-3994-1523
副 "	中谷 容子	229-1111	相模原市宮下本町3-25-5	☎0427-74-3313
副 "	五十嵐佳寿子	272-0813	市川市中山2-8-8	☎0473-34-2354
副 "	高橋 芳子	166-0002	杉並区高円寺北2-7-6-304 高円寺名店ビル304	☎03-3337-1401
副 "	森 孝子	277-0921	東葛飾郡沼南町大津ヶ丘2-13-1	☎0471-92-1151
医 技 部				
幹 事 長	相賀 静子	321-2345	今市市木和田島高内1373-289	☎0288-26-9240
副 "	白石 一枝	167-0042	杉並区西荻北4-5-30	☎03-3390-5052
副 "	安達 房代	164-0003	中野区東中野3-4-8 桜山ハイツ101	☎03-3364-6029
高女・高校部				
幹 事 長	竹の谷 智子	272-0823	市川市東菅野1-3-23-403	☎0473-25-2733
副 "	伊藤 美和子	167-0032	杉並区天沼2-36-22	☎03-3398-0062
副 "	多 胡 愛子	112-0011	文京区千石4-34-7	☎03-3946-9980
副 "	三 雲 保子	166-0012	杉並区和田1-67-17	☎03-3381-1049
副 "	佐藤 直子	184-0003	小金井市緑町5-10-22	☎0423-81-1080
副 "	渡部 睦子	166-0011	杉並区梅里2-7-21	☎03-3312-3663
副 "	宮本 婦美子	179-0075	練馬区高松1-4-9	☎03-5241-5891
副 "	川口 敏子	165-0031	中野区上鷲宮2-13-5	☎03-3990-1730
小 学 校				
幹 事 長	森本 光生	166-0012	杉並区和田1-64-5	☎03-5385-7670
副 "	西村 秀夫	179-0072	練馬区光が丘7-7-4-1002	☎03-5998-9270
副 "	新倉 徹也	164-0012	中野区本町6-22-11	☎03-3381-0642
副 "	能村 佳子	166-0012	杉並区和田1-28-7	☎03-3229-2186
特 別 理 事				
		内線番号		自宅☎
	森本 晴生	259		☎03-3939-8171
	鷺見 美智子	238		☎03-3981-4470
	小松 洋子	226		☎042-384-5661
	大島 恵子	284		☎03-3229-4772
	佐伯 かよ子	3381-0121	医技	☎0423-26-1247
校 内 理 事				
	石井 厚子	230		☎03-3679-7906
	菊地 由江	236		☎03-5340-4335
	清水 文栄	231 3381-0708		☎03-5920-6665
	矢内 貴子	3381-0124	小学校	☎03-3577-9845
事 務 局				
	同 窓 会	232		
	武田 富紀子	165-0025	中野区沼袋2-3-12	☎03-3389-3710
	小暮 明子	166-0003	杉並区高円寺南3-13-11	☎03-5305-6550

平成十一年度
観劇会報告

梅雨の中休みとなった七月十日(出)、恒例の観劇会を芸術座にて催しました。今回の演目は井上靖原作「月の光」。主演は池内淳子さんと風間杜夫さん、卒業生の榎山文枝さんも出演とあって、なつかしい高校の同窓生も多かったことと思われます。

開演に先立ち湊会長より学園の近況を交えたご挨拶の後、大久保安威前理事長、森本晴生新理事長からもご挨拶をいただきました。

今回は誰にもやってくる「老



左から湊会長、大久保前理事長、森本新理事長

い」をテーマにした作品。若いていく母親をめぐって息子、娘、嫁たちの深まる愛情の絆の温かさ、ほのぼのとした思いの後、恒例の舞台挨拶では舞台と客席が一つとなり、なごやかな観劇会となりました。

おかげ様で九十万円近い収益をあげることができましたことを併せてご報告いたします。

同窓会国内旅行

伊香保温泉一泊の旅

専門25 青木純子

九月十九日(日)早朝、湊会長、森本理事長をはじめ総勢四十八名の参加者がバスで新宿を出発。都内を順調に走り抜け、高崎市内の水彩テッサン美術館で、十七歳で早世した山田かまち少年の豊かな感性に触れ、昼食。榛名湖畔で一服して、小学校卒業生の経営する森秋旅館に向かう。

当日は盧花祭、伊香保神社祭礼の日にあたり、温泉街まで渋滞。夕食前の名所巡りはできなかつた。しかし、夕食後は三々五々温泉街に繰り出し、華麗な花火、躍動感あふれる神輿の見物、おかみさん達の歌と踊りを垣間見てすっきりお祭り気分を

味わうことができました。

二十日は群馬フラワーパークを散策し、富弘美術館では生きることの尊さに感動を得て、予定通り帰路につきました。

交替したばかりの新短大幹事長をはじめ旅行委員の方達、久しぶりに友と語り合う喜びの旅に加えて、今回は祭りとし、生きる。テーマを与えて下さいましたことを深く感謝致します。

年会費納入のお願い

本年より年会費の納入について、一括払いの制度を設け、平成十一年度の卒業生及びそれ以前の前卒業生に適用することになりました。

ついては、年払いになさるか、一括納入になさるかお選びの上、別紙払込用紙にご記入になり、納入してください。

(一括納入された場合、次の年から年会費納入不要です。)

1)年払い 年額一、〇〇〇円

2)一括納入 一〇、〇〇〇円

なお、年会費は同窓会の運営費です。寄付金ではございません。どうぞその点、ご理解いただき、全会員がお忘れなくお納めくださいますようお願いいたします。

謹んでおくりやみ
申し上げます

物故者 氏名(敬称略)	
専1 高野すみ江(戸野)	女18 谷田部喜久子(安藤)
専1 野田 うめ(甲野)	女19 久保千代子(横谷)
(愛知支部長)	女19 鈴木 扶己
専8 穴沢恵美子(香川)	短30 宮島 淑子(柳川)
専9 渡辺みさは(金安)	短32 宮下喜多志(中村)
専14 石田 純子	短45 松原 早苗(安西)
専14 沖山家寿子	短51 鈴木 敬子
専16 小島喜美子	短H7 寺澤 綾
専24 岩崎登美子	医36 村田 繁子(大谷)
専24 新井 明子(朝倉)	医45 安達千津子(佐野)
専24 市村さち子	高27 桜谷 道子(松木)
(新潟支部長)	高27 高山美代子
女13 宮崎富美子(福本)	高29 中野 静代(大和)
女16 沢口芙美子(清水)	高29 伊沢 利子(望月)
女16 遠藤 華子(野口)	高29 渡部 靖子
女17 鈴木 芳子(武内)	高31 斉藤早代子(安藤)
女17 大森キミ子(茅根)	高42 石坂しづえ(白井)
女18 勝山 和子(須藤)	小39 岸本 哲夫
	教職員等
	寺崎 清吾(高)
	植山 つる(理事)
	岸 眞子(高女・理事)

払込用紙の記入

- 7) 卒業校別の略称項目に、必ず〇印を付けてください。
- 1) 卒業年月と会員登録番号(宛名のラベルに記載あり)をお忘れなく。

ウ) お名前は楷書で正確に

*ご不明の点は、同窓会事務局(担当・黒澤)

発行所 東京都中野区本町
6-38-1 〒164-8638
東京文化学園同窓会
電話 03-3381-0196
(内線 232)
FAX 03-3381-7866

発行人 湊 くに
編集人 青木 純子
印刷所 株式会社 神木印刷